



どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減するため

川幅を拡げて流せる
水の量を増やします

地元の声

・台風の時などに川が溢れそうで心配だ。(地元住民)

事業前

◆ 大雨の時は河川の水位が上昇し、浸水被害が発生するおそれがあります。

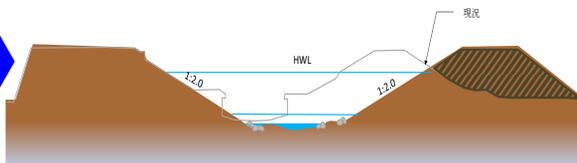
出水状況 (H29年台風21号)



事業前の状況

事業後

◆ 川幅を拡げ、流せる水の量を増やすことで、河川の氾濫による被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ

事業の概要

- 事業箇所：館林市入ヶ谷町～邑楽町赤堀
- 事業内容：河道拡幅 延長 3,890m
- 事業期間：平成30年度～



事業位置
館林市
～邑楽町

事業の進捗状況 (令和6年3月末現在)



令和6年度 河川改修計画の検討

今、何をしているか

令和6年度は、河川計画の検討を実施します。



事業のすすみ具合

事業開始 ● [Progress bar] ● 事業完了